



## 2025年6月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年2月12日

上場会社名 株式会社unerry 上場取引所 東  
 コード番号 5034 URL <https://www.unerry.co.jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 内山 英俊  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO 経営企画部長（氏名） 斎藤 泰志（TEL）03-6823-8234  
 半期報告書提出予定日 2025年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年6月期第2四半期（中間期）の業績（2024年7月1日～2024年12月31日）

## （1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期中間期	1,733	51.0	103	—	104	—	68	—
2024年6月期中間期	1,148	20.7	△34	—	△36	—	△22	—
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年6月期中間期	18.33		17.61					
2024年6月期中間期	△6.25		—					

（注）2024年6月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため、記載していません。

## （2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
2025年6月期中間期	2,300	—	1,750	—	76.0	
2024年6月期	2,103	—	1,629	—	77.4	

（参考）自己資本 2025年6月期中間期 1,748百万円 2024年6月期 1,627百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年6月期	—	0.00			
2025年6月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年6月期の業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,746	32.2	240	34.2	240	78.5	138	103.0	37.33

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年6月期中間期	3,768,490株	2024年6月期	3,743,400株
2025年6月期中間期	36,089株	2024年6月期	36,089株
2025年6月期中間期	3,712,667株	2024年6月期中間期	3,634,463株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間貸借対照表 .....	4
(2) 中間損益計算書 .....	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に、景気は緩やかな回復傾向がみられるものの、世界的な金融引き締めや物価上昇等により、依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境のなか、当社は、ミッションである「心地よい未来を、データとつくる。」の実現に向け、リアル行動ビッグデータの収集体制の拡充や解析精度の向上、サービス開発の推進など、リアル行動データプラットフォーム「Beacon Bank®」の基盤及び利活用の強化に注力してまいりました。

具体的には、株式会社プログウォッチャーと熊本県の観光振興のため、位置情報ビッグデータを活用した情報発信による観光誘客、回遊促進および来訪者分析などの支援を開始しました。また、展示会への出展やイベントでの登壇を通じて、サービスの広報活動を実施してまいりました。

さらにスマートシティの領域において、当社、東京都狛江市、東日本電信電話株式会社、株式会社ティアフォー、株式会社マップフォー、一般財団法人計量計画研究所で構成されるコンソーシアムで、総務省令和5年度補正予算「地域デジタル基盤活用推進事業(自動運転レベル4検証タイプ)」にて、2024年4月からローカル5G等を活用した遠隔型自動運転の実証を進めており、当中間期においても遠隔型自動運転バスの住民試乗会を開催し、実証実験を進めております。

以上の取り組みの結果、当中間会計期間の業績は、売上高1,733,861千円(前年同期比51.0%増)、営業利益103,172千円(前年同期は営業損失34,206千円)、経常利益104,788千円(前年同期は経常損失36,649千円)、中間純利益68,037千円(前年同期は中間純損失22,710千円)、リカーリング顧客売上高1,598,825千円、リカーリング顧客売上高比率92.2%、リカーリング顧客数127社、リカーリング顧客平均売上高12,589千円、NRR138.0%となりました。

なお、当社はBeacon Bank事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当中間会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて197,686千円増加し、2,300,908千円となりました。これは主に、有価証券の増加400,000千円、受取手形、売掛金及び契約資産の増加115,093千円、その他の増加44,470千円、現金及び預金の減少378,620千円によるものであります。

##### (負債)

当中間会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べて75,935千円増加し、550,126千円となりました。これは主に、買掛金の増加132,861千円、その他の減少53,613千円によるものであります。

##### (純資産)

当中間会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて121,751千円増加し、1,750,781千円となりました。これは利益剰余金の増加68,037千円、資本金の増加26,857千円、資本剰余金の増加26,857千円によるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ21,379千円増加し、1,680,177千円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は23,350千円となりました。これは主に、売上債権及び契約資産の増加額115,093千円、その他の減少額46,019千円、法人税等の支払額38,949千円、棚卸資産の増加額14,260千円による資金の減少があったものの、仕入債務の増加額132,861千円、税引前中間純利益の計上104,788千円による資金の増加があったことによるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は2,252千円となりました。これは無形固定資産の取得による支出2,252千円による資金の減少があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は301千円となりました。これは新株予約権の行使による株式の発行による収入301千円による資金の増加があったことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想について変更はありませんが、今後の事業環境の推移や業績の進捗を注視し、見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

## 2. 中間財務諸表及び主な注記

## (1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年6月30日)	当中間会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,658,798	1,280,177
受取手形、売掛金及び契約資産	373,386	488,479
有価証券	—	400,000
棚卸資産	18,514	32,774
その他	30,109	74,579
貸倒引当金	△7,950	△7,950
流動資産合計	2,072,858	2,268,061
固定資産		
無形固定資産	2	4,020
投資その他の資産		
投資その他の資産	78,681	76,279
貸倒引当金	△48,321	△47,454
投資その他の資産合計	30,360	28,825
固定資産合計	30,362	32,846
資産合計	2,103,221	2,300,908
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	237,089	369,951
未払法人税等	38,924	35,610
その他	198,177	144,563
流動負債合計	474,191	550,126
負債合計	474,191	550,126
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,712	41,569
資本剰余金	1,393,428	1,420,285
利益剰余金	221,153	289,190
自己株式	△2,223	△2,223
株主資本合計	1,627,070	1,748,822
新株予約権	1,959	1,959
純資産合計	1,629,029	1,750,781
負債純資産合計	2,103,221	2,300,908

## (2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
売上高	1,148,141	1,733,861
売上原価	801,983	1,127,077
売上総利益	346,158	606,783
販売費及び一般管理費	380,365	503,611
営業利益又は営業損失(△)	△34,206	103,172
営業外収益		
受取利息	5	163
ポイント還元収入	138	1,521
助成金収入	17	—
その他	48	—
営業外収益合計	210	1,684
営業外費用		
支払利息	17	—
為替差損	1,055	68
株式交付費	1,578	—
その他	0	—
営業外費用合計	2,652	68
経常利益又は経常損失(△)	△36,649	104,788
税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△)	△36,649	104,788
法人税、住民税及び事業税	265	35,635
法人税等調整額	△14,203	1,115
法人税等合計	△13,938	36,751
中間純利益又は中間純損失(△)	△22,710	68,037

## (3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△)	△36,649	104,788
減価償却費	15	2
受取利息	△5	△163
支払利息	17	—
為替差損益(△は益)	1,091	20
株式交付費	1,578	—
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△79,189	△115,093
棚卸資産の増減額(△は増加)	△30,199	△14,260
仕入債務の増減額(△は減少)	44,767	132,861
その他	△34,438	△46,019
小計	△133,012	62,136
利息の受取額	5	163
利息の支払額	△17	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△529	△38,949
営業活動によるキャッシュ・フロー	△133,553	23,350
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
無形固定資産の取得による支出	—	△2,252
敷金及び保証金の差入による支出	△2,381	—
敷金及び保証金の回収による収入	1,072	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,309	△2,252
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△104,993	—
株式の発行による収入	418,001	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	33,752	301
自己株式の取得による支出	△147	—
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	1,771	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	348,385	301
現金及び現金同等物に係る換算差額	△143	△20
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	213,379	21,379
現金及び現金同等物の期首残高	1,127,256	1,658,798
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,340,635	1,680,177



(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2024年10月4日開催の取締役会決議に基づき、2024年10月29日付で当社の取締役(社外取締役を除く。)に対する譲渡制限付株式報酬として新株式の発行を行っており、資本金及び資本準備金がそれぞれ4,809千円増加しております。また、2024年10月4日開催の取締役会決議に基づき、2024年12月2日付で当社の従業員に対する譲渡制限付株式報酬として新株式の発行を行っており、資本金及び資本準備金がそれぞれ21,897千円増加しております。

この結果、当中間会計期間末において、資本金は41,569千円、資本剰余金は1,420,285千円となっております。